



青空の下で、合唱発表会

▼11月18日(木)、合唱発表会を行いました。今年度はコロナの関係で、陵風祭での合唱発表は見送りました。しかし、ここに来て、鎮静化したことと、本校の伝統である「合唱」、特に長年にわたって歌い継いできた「大地讃頌」を全校生徒で歌いたいとの思いから、感染症対策をとり、グラウンドで実施しました。▼この

日に向け、青洲高校音楽部の合唱を聴く機会を設けたり、実行委員が中心となっ



て、放課後練習をしたりしてきました。▼発表後、1年生の近藤凌司さんからは「2年ぶりの合唱で、練習は苦労したが、歌い終えて楽しいなと思えた。」2年生の高室沙愛也さんからは「開催できてうれしかった。先輩から学んだことを来年に生かしたい。」3年生の村松歩香さんからは、1・2年生の発表を称えた上で「このメンバーで歌えることができてよかった。」と感想発表を述べてくれました。



▼また、特別ゲストの「落合節子先生」からは、コロナ禍での開催であったことから、期待半分・不安半分という気持ちで訪れたが、生徒の発表を聞き「市中生、やるじゃん！」と、生徒の合唱や取り組む姿勢を褒めてくれました。落合先生からは、各学年の発表についての感想やアドバ



イスをいただいていますので、今後の合唱活動に生かしてほしいと思います。▼先生たちも「花になれ」を合唱し、生徒へのメッセージを贈りました。

生活参観・授業交流

▼生活参観が11月15日(月)～19日(金)の5日間行われました。この期間中、約50名の保護者と7名の民生児童委員の方が来校してくれました。▼またこの期間は、先生達も校内研究の一環で、互いの授業を見合い、授業改善につなげるための授業交流期間でもありました。今回はICT機器を授業でどのように効果的に活用するかをテーマにしたこともあり、多くの教科でタブレットパソコンを使った授業が行われていました。▼私も多くの授業を参観しましたが、1年生の英語では、教科書のQRコードを読み取り、教科書本文を個人ごとに黙読したり、大きな声で音読したりする生徒の姿を見て、授業の進め方が大きく変わってきたことを実感するとともに、このような学習環境で学ぶことのできる生徒は幸せだなと思いました。



数学の授業でタブレット学習をするんだと最初驚きました。関数の授業でしたが、例えも分かりやすく、みんなで考えたり、意見を取り入れながらの授業で楽しかったです。

家とは違った子どもの様子が見られてよかったです。想像していたよりも、真剣に授業を受けていて安心しました。

学家地「花植え作業」

▼11月13日(土)、「学校・家庭・地域連絡協議会」の環境整備部が、市川三郷病院とケアセンター等の花壇にパンジーなどの花を植えました。▼この活動は平成5年から毎年行っている活動で、今回も、約20名の部員の他に、シニアクラブや社協の方、中学生ボランティアが参加して、互いに交流しながら作業を行いました。

